

堂々立派新聞

発行所
堂々立派新聞京都本社
京都市中京区六角通南丸東入ル
大塚六角ビル2階クラブフレイム内
郵便番号604
編集発行人/西崎修平
デザイン/ゆさたろう

ステレオグラム

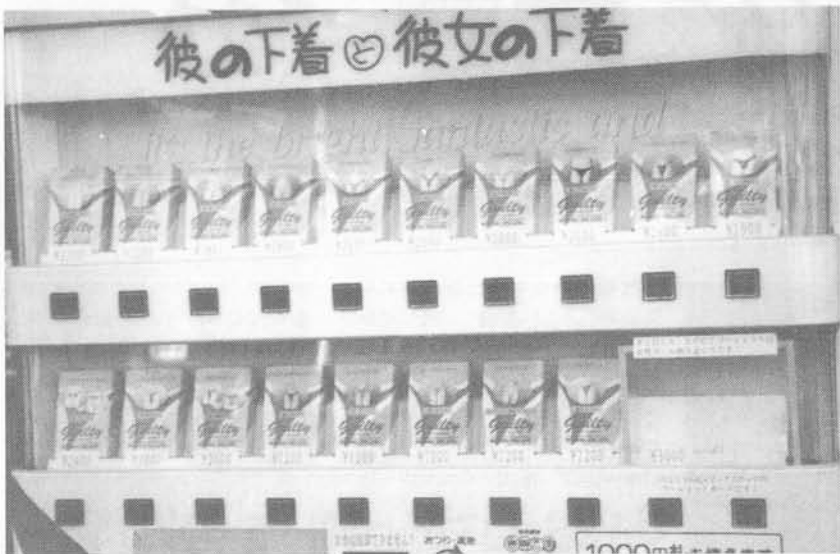
自販機で下着

京都府下五カ所で見

以前本紙で志賀町にある「玉子の自動販売機」を紹介し話題を呼んだが、このほど京都府下で「ペア下着の自動販売機」が発見され、各方面に波紋を投げかけている。この自販機は売っている商品の性質の割りには交量の多いところを選んで堂々立派に設置してあり、設置関係者らの自信のほどがうかがえるが、付近の住民らは「口々に「おお」「うわぁ」と、よくわからない感想をもらしている。

有力な情報筋によると、問題の自販機で販売されているのは「ギルティ」という名称の男女ペア下着で、管理責任者はウェッジ株式会社。販売機は四条大宮北西フジタカガレージ前、名神京都南インター新堀川通クリスト前、9号線桂西友隣のプロンディ前、

山科外環状線ブレノア前、大山崎171号線のコンビニ、スパー前にそれぞれ設置されている。販売機は収容能力が高く、一度に最大30種の商品が販売できる。実際にこの自販機で販売されているペア下着は、すべてギルティオリジナル商品。素材がレース、シル



クを使用しており、さらに「斬新なデザイン」で、中には互いの×××が○○○〇になっているため、脱がないでも△△△が☆☆できるものもある。色も蛍光色などを使っており、かなり派手でも種類が多い。価格が一〇〇〇円からと廉価なこともあり「ちょっとした贈り物にも最適」で「二人の世界を変えます」と販売元では言っているが、実際に贈る場合、相手

の性格や相手と自分との間柄をよく認識したうえでないと「二人の世界が終わる」ことも考えられ、贈答の場合には特に注意が必要。しかしこの自販機の最大の見どころは販売されているのが「ギルティ下着」であるにもかかわらず、機械本体には、大きく堂々立派に「Guilty」と書かれていることだが(本来は「Guilty」)販売元がなんらかの意図をもつ

てわざと文字を入れ換えた可能性もあり、さる方面から調査をするもよう。
山科区 M・H
なんでも自販機で売れるということは、とりあえず便利ではある。が、コレ買おうと思ったらヒトカタならない勇気がいるわなア。その昔、恥ずかしくてエロ本も自販機で買えなかったワタクシとしては……。

子ども会議にお茶漬け男

ラモス選手よそおい参加

京都青年会議所が主催した、人間として地球的規模の判断や価値基準、文化ベイスを持った次代を担うリーダーとしての青少年の育成などを目的とした「エンゼルフォーラム世界大会」最終日の8月28日、同大会のイベントに、Jリーグ・ヴェルディ川崎のラモス瑠偉選手をよそおった男が紛

れこみ、参加した子どもらにお茶漬けを食べるよう強要していたことが、参加者らの話からわかった。

話によると、お茶漬け男が現れたのは平安神宮で行われたエンゼルスステージ。司会者から「ラモス選手」と紹介された男は、クイズ

などに興じ、子どもらの質問に「友だちを大切に」「親のいうことをよく聞いて」など、もつともらしい

りかえた。そして求められるままにサインに応じながら「日本人ならお茶漬けだろうが」と、低い声でささやき「お茶漬けを食べないとタダではすまない」といった強迫観念を植えつけていたよう。

主催者の京都青年会議所では「お茶漬け男だなんてとんでもない、あれは間違いないくモス選手」と主張しているが、参加した東山

区の小学生Aくんは「サインをしてくれるとき何を聞いても『日本人ならお茶漬けだろうが』としか言わなかった。『がんばってください』と声をかけても、笑いながら『日本人ならお茶漬けだろうが』と言った。怖かった」と言っている。川端署では何者かが人気者のラモス選手をよそおい、お茶漬けを普及させようとしたのではないかとみて、動機や背後関係などの調査に乗り出す模様。

山科区 二児の父
「日本人ならお茶漬けだろうが」と言っていたんなら本人じゃないのか？」

めざせ」
堂々立派新聞は京都サンガを京都人並みに応援します。

気が大きくなり、病状が進行すると、朝八時三〇分から一二時までと一時から五時まで以外の時間は体が動かなくなる症状が出る。

さらに病状が進行し、末期状態になると幻覚が見え「日本を動かしているのは自分だ」と思い込むようになり、同じ内容のうわごとを絶叫するようになるという。この末期状態の患者を特に「キャリア」と呼ぶ。初期段階の保菌者は、東京の本郷、駒場あたり、キャリアは霞ヶ関界隈に多いと言われている。

同研究所では「感染力が弱いとはいえ、危険な細菌。近畿方面にも初期段階の保菌者は必ずいるため注意が必要」と呼びかけている。

伏見区 三島和博
「実はコレ、考えオチなんです。キャリア以外はあんまりウマク落ちてないぞ。」

近畿微生物研究所（柴里北三郎所長・京都市）は14日、ヒトの性質をいちじるしく変える特徴をもった細菌「カンリョー菌」を抽出するプロジェクトチームが、その抽出実験に成功したと発表した。

近畿微生物研究所（柴里北三郎所長・京都市）は14日、ヒトの性質をいちじるしく変える特徴をもった細菌「カンリョー菌」を抽出するプロジェクトチームが、その抽出実験に成功したと発表した。

カンリョー菌は、メガネをかけ、ふてくされた中年男性の顔に似た模様があり、他のウィルスや細菌が近寄ってくるのと繊毛をのばし、まるで「あっち行け、こっち行け」と指図するように追い払う性質があるという。この細菌は感染力こそ弱い、一度ヒトの体内に入ると、患者はどんなに臆病な人間でも性格が一変、

堂々立派語録

はホテルでの食事。後者は①ネクタイ②くつした③手編みのセーター④手作りのケーキ、である▼クリスマスにける意気込みが男よりもはるかに上回っていると思われる女のほうが圧倒的に金がかかっていない。なぜか▼答えは簡単。お互いに最終的な到達点（この場合キャンドルのゆれる灯に陶醉しながらセックスにいそしむこと）は同じなので、そこに至るまでの手間は極力省く。でもそれでは男からの贈り物とのギャップが大きすぎるので、女はラッピングに凝る。これで見栄えもよくなるし「カワイクするのう欲求」も満足するので、無事円満解決だ▼落ち込むなかれ男性諸君。君たちの性欲が、明日の日本を不景気から救うかもしれないのだから。ちと大げさか。エッチくらいで。

▼今年もついにやってきた。言うまでもなくクリスマスのことである。ソニブラやライノブンやらに、ツリーだのキャンドルだのディスプレイが施される頃になると、河原町界隈を歩き交う若者たちの足取りはどこか軽やかに、気がつく「赤鼻のトナカイ」などを口ずさんでいたりするものである（せーへんせーへん）。そしてバブル期ほどではないにせよ、百貨店や貴金属店でさまざまな消費活動が展開されるのである▼ここで男から女への、また女から男への「貢ぎ物」について考えてみよう。まず前者は①どこかのブランドのアクセサリー②どこかのブランドのバッグ③どこかのブランドの服④そしてどこかの高いレストランまた

雑草も害虫も根こそぎ焼却！ お庭バンナー-S

雑草は根子から、害虫は土の中の幼虫まで焼却。使用燃料は手軽に扱える濃化燃料で、37mの射程距離が可能です。リックサック型ですので女性の方にもカンタンに扱えます。



商品番号-DD13-M2A1

希望小売価格300,000G

特別価格 19,800G

●色/カーキ ●重さ/19.5kg ●タンク容量/4ガロン

堂々立派 ショッピング



今なら
徳用ナバーム缶
3缶ついてます!!